

サシバの情報をいただけませんか！

サシバは年々減少傾向にあるとされ、2006年12月には絶滅危惧種に選定されたと環境省から発表がありました。

本当に減少傾向にあるのか調べるための基礎情報が無かったことから、昨年から図の黒枠(主に前原市)においてサシバの繁殖生態を研究しています(他の猛禽類も)。

2007年は17箇所の営巣地を見つけ、巣を9箇所見つけることができました。17箇所の営巣地のうち7箇所で幼鳥の巣立ちを確認することができ合計14羽が巣立っていきましたが、繁殖成功率は他の報告に比べ低いようです。営巣環境などの研究結果は2007年の日本鳥学会でポスター発表しました。

調査範囲を白枠に広げ(30つがい位?)、営巣環境や、少なくとも5年ごとに減少しているか?などを長期的に研究したいと考えており、本年は昨年調べていない地域(糸島半島)を主に調べようと思っています。一人で研究できる量には限界があり、できればみなさんに協力していただけないかと思い、ご連絡させていただきました。

- ・ 白枠内のサシバの観察情報提供。
- ・ 営巣地推定調査(4月)、巣探し調査(6月)、巣立ち確認調査(7月)のどれかに参加。
- ・ 継続して一緒に研究しませんか。

上記の事柄について一つでもご協力していただけるようでしたらご連絡をお願いします。

なお情報については支部報ではなく、できれば以下のメールアドレスか電話番号に直接ご連絡をお願いします。

accipiter2004@yahoo.co.jp 090-5082-9259 伊関文隆

昨年のサシバは4月5日にはすでに営巣地に飛来しているものもいました。4月前半にはほぼ全ての成鳥が営巣地に飛来していると思われます。4月は頻繁に姿を現し、縄張り争いの飛翔や目立つ場所へのとまり、求愛給餌や交尾を観察することができます。この時期が最もサシバの営巣地推定が容易ですので、ぜひ4月に情報が集まればと思っています。あまり近くで観察すると影響があるので、人の影響がないかサシバの様子を見ながら観察をしていただきたいと思います。

5月は昨年生まれの若鳥が渡ってきて、繁殖つがいは抱卵のためあまり動かなくなるので、営巣地推定にはあまり向いていないと思います。

7月には一斉に幼鳥が巣立ちますので、7月初旬と中旬は巣立ち確認のチャンスです。

